

## 知事と市町村長との意見交換会でいただいたご意見・ご提言(主なもの)

### ●佐久地域（平成 24 年 5 月 7 日）

ご意見・ご提言の内容
・内陸に適した産業クラスター（関連企業等の集積）の研究が必要
・20年後の信州教育が全国に誇れるようなものになれば理想的
・英語教育ではコミュニケーション能力の向上が重要
・地域高校は地域高校としての役割があり、高校再編については地域や自治体の考えをくみ取ることが必要
・障害を持つ子ども達が健常の子ども達と同じ場所で学ぶのは非常に良いことであるため、養護学校の分教室は小中学校と同じ場所に設置することが必要
・化学肥料や農薬に頼らない安全で安心な農作物の栽培や循環型の農業の確立が20年後の農業のあり方ではないか。
・今実施している事業と予算のあり方をどのように見直すのかが課題
・20年後、今までどおりの福祉・介護が維持できるか懸念され、このことに対する県の取り組みが重要
・20年後を見据えたときに、山林（林業）については県土の8割を占めているため県として発信すべきものであり、柱の一つにすべき。
・中学校の職場体験は最低でも1週間程度必要
・子ども達が成長すると村を離れ地域を支える人材がいなくなることが深刻であり、対策が必要
・長く生きる時間を家族で一緒に過ごすことを促進させる施策が必要
・県民が求める、県民がとらえやすい目標数値を入れていくことが重要
・中部横断自動車道やリニアなど開発利益の内部化を図っていくことが必要

### ●大北地域（平成 24 年 5 月 10 日）

ご意見・ご提言の内容
・計画は現在本県に住んでいる人だけでなく、将来住みたい人に向けてのものでもある。定住できる地域であることや、移住の受け入れなどについて明確に打ち出すことが必要
・教育については、学校教育のみでなく、芸術文化活動やスポーツ活動などの生涯教育の観点を盛り込むことが必要
・出て行った人材が長野県に帰ってきて地域づくりに参画してもらうよう、県に愛着を持つような仕組みづくりが必要
・メンタルな面での健康づくりが必要
・水を保全し地域で活用していくことを県の大きな柱にすることが必要
・自然エネルギーを地域で生み出すという点について率先して取り組むことが必要

<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標の「信州を磨く」と「確かな暮らし」はギャップがある。20年後に夢を実現しようと取り組むと言っている割には留まっているイメージであり、「元気な信州」、「豊かな信州」など踏み出していった方がいい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の特別支援教育に対して、市町村負担への補助等拡充が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>景観のためには農地を守ることが必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティづくりの大切さを計画に盛り込んでほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪についての安全・安心などは当たり前のことだが、しっかりと計画に記載すべき。</li> </ul>

●北信地域（平成 24 年 5 月 11 日）

ご意見・ご提言の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>長野県の病院は特色ある病院が少ない。地域医療をめざすだけでなく、手術支援ロボットなど何か一つでも特色あるものを検討すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「信州を磨く」はいい言葉である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が減っている中、自然などを活かした観光、移住定住などが重要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林税を延長するなど、里山の整備は大変重要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「農村文明塾」という組織を作り廃校を利用した交流などの取組を行っている。人口が減っている地域の取組にも光をあてるべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線延伸に伴い、北陸に観光客を吸い取られることが危惧されるので、全県的な観光振興が重要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化で雪かきができない世帯が今後も増えるので、支援策が必要</li> </ul>

●諏訪地域（平成 24 年 5 月 15 日）

ご意見・ご提言の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定後に生じる新しい課題にも対応が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「天賦の恵」、「営為の賜」のように長野県特有の部分を出すことが必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>最先端技術はそのままでは活かない。長野県の技術が世界で通用するにはどうすればいいのか、もっと掘り下げることが必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>心豊かな人間らしい暮らしを目指す場合でも、「1人あたり所得が最低いくらであるべきか」など、所得・雇用の視点を十分に持つことが必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>20年後のビジョンに向けて、5年間のプランはポイントを絞って特徴的な方向性を出すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方事務所や市町村との関係のあり方など、仕組みをどうするか記載が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村がすべきことがはっきり見えるようにすべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事があり、大都市へのアクセスが良く、医療・教育が整っていることに優位性を持つことが、移住・交流や企業誘致に重要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の良さを認識した子どもを育てることが非常に重要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高速交通網の構想から抜け落ちてしまった、諏訪・松本・大町への対応が必要</li> </ul>

●飯伊地域（平成 24 年 5 月 15 日）

ご意見・ご提言の内容
・リニア中央新幹線からの交通アクセス網の整備が必要
・南信州の観光振興のためには、県の観光キャンペーンの中での南信州の位置付けを明確にするとともに、今後の交通網を活かした取組が必要。
・「子育て先進県」にスポットライトを当て、子育てNo. 1を目指すことが重要
・人口減少の急速な進行によって子どもが減少し、学校運営もままならない状態なので、出生数の減少を食い止める対策が必要
・若者が集まり、優秀な人材が地元に残るためには、飯伊地域に県立大学の1～2学部を設置することが必要
・林業で生計が立てられる方策が必要
・小さな自治体ではスケールの限界があるため、川の下流域と連携した取組や、多種多様な主体の力を借りた取組を行っている。県・広域圏がこのようなコーディネートをすれば、各地域が光るのではないか。
・「豊かな暮らし」を継続的に営むためには財源が必要で、そのためには観光が重要
・計画では、人口減少と高齢化が顕著な中山間地域が生き残るための具体策を数値目標化し、住民に分かる計画にすべき。
・北高南低とならないよう配慮が必要
・インフラ整備（道路、土砂崩壊対策等）にきちんと取組むべき。
・20年後まで豊かな自然環境を維持するには、農林業をきちんと行い、自然の手入れをしていくことが重要。また、計画的な里山整備・農林業の保護・人材育成が必要
・素晴らしい自然と農業が織りなすふるさとの原風景が、一番のポテンシャルである。
・診療所の医師と介護職員の確保が必要
・計画の中で県全体の産業育成の観点を明確に打ち出すべき。

●木曾地域（平成 24 年 5 月 18 日）

ご意見・ご提言の内容
・環境や鑑賞としての森林になっており、資源として捉える林業を考えるべき。
・長野県の山と川と人という資源をいかに共存させ、生かしていくかが重要
・リニア中央新幹線を生かそうとすると木曾川右岸道路などの基盤整備が必要
・雇用の問題で若者が定着せず、地域の行事や自治会運営への支障や、空き家の増加などが懸念されるため、中山間地域の振興策をどう位置付けるかが重要
・木曾川上下流の交流が重要であり、こういった取組を木曾全体に広げていくべき。

●長野地域（平成 24 年 5 月 22 日）

ご意見・ご提言の内容
・中山間地における人口の偏在性が最も大きな問題
・計画を推進するための基本姿勢に「求める社会から分かち合う社会へ」という観点をに入れて欲しい。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本はいろいろなものに恵まれているので、今あるものを伸ばすという観点も大切。「磨く」は良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力の需給調整を町で行うスマートコミュニティの仕組みを検討しているが、県全体でも総合的なエネルギー管理に取り組むことが必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の力でできること、市民独自の力でできること、県民と行政との協働でできることという形を県民に理解してもらうことが必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここは我慢してください、ここは全力投球という戦略性が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の中での長野県の役割として、例えば癒しの場として都会や国民のための長野県であってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の流出を防止するなど、テーマの中に「住みたくなる信州」というものをもっと強く謳うべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北信には大きな企業が少ないので、産業に力を入れてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番重要なのは基本目標をみんなで共有すること。現在の「磨く」はまじめすぎて全く迫力がない。「確かな暮らし」もきれいな言葉すぎる。</li> </ul>

●松本地域（平成 24 年 5 月 29 日）

<p style="text-align: center;">ご意見・ご提言の内容</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「天賦の恵」や「営為の賜」という表現が分かりにくく、理解しやすいほうがいい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災を経験する中で、市民の安全・安心を守る防災を強化すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州は大自然の絶景をはじめとする豊かな景観が誇り。このため、原風景を構成する土蔵や屋敷林などの維持管理や電線地中化が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護大学の拡張など、看護師不足への対応が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源税を設けるなどして、森林や水など美しい自然を守ることが大事</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎地域に残る貴重な歴史遺産の保護が大事</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいライフスタイルを創っていくという時代認識は賛成。モデルケースを研究するなど、農村文明などの持ち味を生かして創っていくことが必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の地産地消には、米を中心とした日本型の食生活を徹底して地域の中に定着させるとともに、日本食を文化として発信していくべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災があった後なので、治山治水など安全安心をもっと打ち出すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドコンピューティングの導入は自治体の経費削減にとっても必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育立県には、子どもだけでなく生涯学習・生涯スポーツも重要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5か年間の取り組みは県の主体性を出して欲しい。</li> </ul>

●上伊那地域（平成 24 年 5 月 30 日）

<p style="text-align: center;">ご意見・ご提言の内容</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育が重要で、子どもの感性を磨き上げることが大事な視点</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と市町村の役割分担を明確にして欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南信地域のリニア中央新幹線の駅に県内から多くの人に乗れるよう、道路整備が必要</li> </ul>

・広域連合、地方事務所、本庁などマネジメントシステムが変わる時期なので、方向性を出して欲しい。
・市町村との関係について記載が少ない。
・施策を進める際には市町村との議論が必要
・地域の担い手となる若者を増やすために、モデル地区を指定するなど、県の支援策が必要。
・健康づくりのため、乳幼児の頃から遊びの中で体づくりを行うことが必要
・重点的に何をやるのか、市町村とのディスカッションの場が必要

●上小地域（平成 24 年 5 月 31 日）

ご意見・ご提言の内容
・上小地域にはメジャー級の観光地がないため、一点豪華主義ではなく、他の地域との連携が必要
・特区制度を活用して東御市産のぶどうだけを使ってワインを製造しているが、シェアを大きくするために、全県で特区にして県産ぶどうでワイン製造できるようにして欲しい。
・いろいろな農産物の栽培や特産品の開発をしようとするグループはあるが、事務ができるなどの人材がないため、そのような人材育成が必要
・農業 I ターン者の受け入れは村としても頑張るので、県の組織を使って全国から連れてきて欲しい。
・木はお金にならないために山に手が入らないという現実がある。そのため、森林整備・山の保全に対する施策が必要
・地域医療再生計画が来年度で終わるが、よりよい医療体制の整備は継続して必要
・30 人規模学級を中学 3 年まで拡大して欲しい。
・子どもにとっては満足感だけでなく、悩んだりすることも将来にとって役に立つと考える。